

急傾斜地崩壊対策事業の効果

高齢者等の災害時要援護者対策の推進

災害時要援護者対策の推進

〈 東京都 多摩市 連光寺(れんこうじ)地区 〉

位置図



連光寺地区

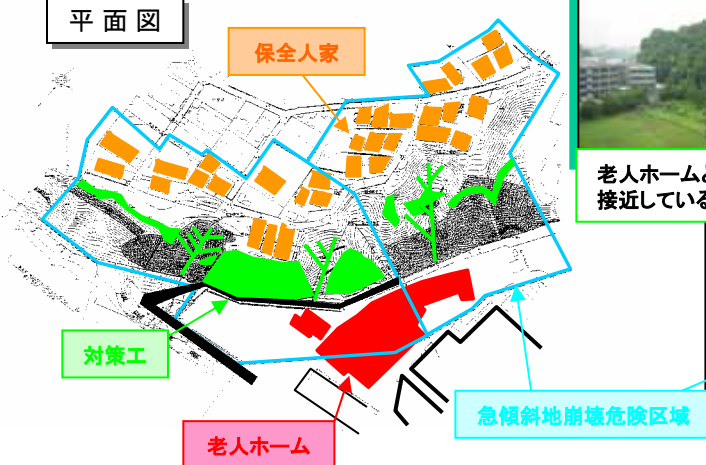
事業概要

当地区は多摩市連光寺地区に位置し、過去に幾度も表層崩壊が発生している。保全人家は33戸、災害時要援護者施設(特別養護老人ホーム)1戸がある。

斜面上部の人家は斜面に接し、さらに斜面下部には災害時に自力避難が困難な方々の暮らす老人ホームがある。

平成13年度から事業着手し、法枠工や切土工等の対策を行ない、平成17年度に概成予定である。

平面図



老人ホームと斜面が接近している状況



現在の老人ホーム

連光寺地区全景

(※平成9年撮影のため建物の形状が現在と異なる)

災害時に自力避難が困難な高齢者が暮らす災害時要援護者関連施設である福祉施設等を土砂災害から保全し、安全で安心できる生活基盤の確保など、極めて重大な被害の発生防止に貢献！！

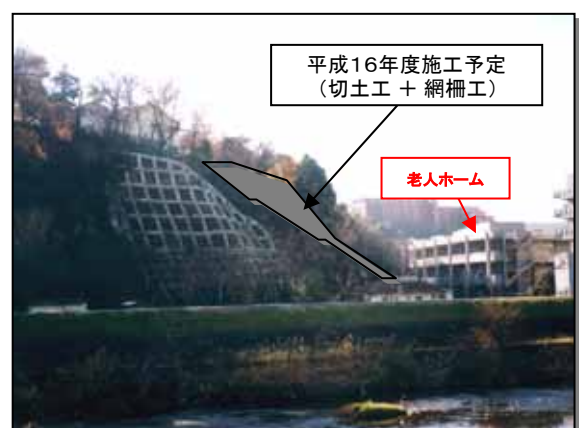
斜面对策施工前



斜面崩壊状況

土砂崩落の危険と隣り合わせの災害時要援護者関連施設

対策が進む現在



平成16年度施工予定
(切土工 + 網柵工)

対策工を着実に進め、土砂災害から老人ホームを守る